

## 鉄道友の会 2017年度定時総会議事録

作成年月日：2017年 7月 24日

改訂：2017年 8月 17日

確認：2017年 8月 18日

作成者：大庭幸雄事務局長

日 時：2017年7月1日（土）13時25分～15時35分

場 所：北とぴあ7階 第2研修室（東京都北区）

出席者：

（役員）

須田 寛会長、久保 敏副会長、柚原 誠副会長、松田清宏副会長 関 崇博専務理事、  
内田隆夫、大幡哲海、大庭幸雄、小野田滋、加藤幸弘、亀井秀夫、下田晃市、二宮敬彦、  
服部朗宏、日比政昭、藤崎 正、山口 進 各理事、千代村資夫監事（以上18名）

（代議員）

〔正会員からの推薦〕

石川勝久、井口昌樹、宇田賢吉、海老澤賢治、片岡 薫、北野隆雄、小菅一己、  
佐藤浩也、坂戸宏太、新谷一郎、篠原 丞、須永 望、高木雅敏、西川 要、橋本政明、  
原 英喜、兵頭俊康、平野正範、平石大貴、松嶋克広、真鍋裕司、前田善弘、水澤宗和、  
三宅弘晃、吉田行男 各代議員（以上25名）

〔研究会からの推薦〕

藤岡雄一 代議員（車両記録研究会）（以上1名）

〔支部からの推薦〕

齊藤 凌（北海道支部）、本田正博（秋田支部）、武田 守（山形支部）、大島登志彦  
（北関東支部）、山口長之、（東京支部）、沢野慎一（新潟支部）、藤岡博信（長野支部）、  
卯野一郎（北陸支部）、岸本雅行（福井支部）、増田 昭（静岡支部）、野上基長（名古屋  
支部）、三増晃嗣（京都支部）、坪倉 則孝（阪神支部）、大賀宗一郎（東中国支部）、  
名本 学（中国支部）、森川 厚（四国支部）、日下博文（九州支部）  
各代議員（以上17名）

〔理事会からの推薦〕

秋元克広、荻原俊夫、佐藤竜一、中山嘉彦、深見夏好、三宅俊彦、登山昭彦 各代議員  
（以上7名）

委任状提出者：

（役員）西尾監事（以上1名）

（代議員）

〔正会員からの推薦〕

塩屋敏之、中村 稔、濱道輝章、古屋憲隆、山岸房雄 各代議員（以上5名）

〔研究会からの推薦〕

藤田吾郎（客車気動車研究会）、金子智治（東急電車研究会）、島谷基信（小田急研究会）、  
吉富 実（西鉄研究会）各代議員（以上4名）

〔支部からの推薦〕

（なし）

〔理事会からの推薦〕

竹上潤司、焼田 健 各代議員（以上2名）

会議経過：

1. 加藤理事の司会により、開会した。
2. 開会にあたり、須田会長が挨拶を行い、三つの課題提起をされた。
  - (1)「会員3,000人の確保を目指して」

会員数の減少が続いている。2016年度は3,023人と、辛うじて3,000人を確保したが、これを割れば会の世間的評価が低くなると同時に、3,200人規模を確保しないと、現状レベルの活動資金に窮する恐れがある。  
皆さんの総力を挙げての会員増強活動を期待する。
  - (2)「鉄道車両の文化財保存活動」

鉄道は長い間、人とともに文化を運んできた。その車両、構造物は、国民的文化財に値するが、構造物に対する国の重要文化財指定がかなり進んでいるのに対し、車両の指定は極めて少ない。昨年、量産型として国産初となる蒸気機関車〔233号蒸気機関車〕に続いて、今年、初めて電車2両の指定が答申された。今後も、現車調査等に協力して、その認定に関われる文化活動団体を目指す。
  - (3)「支部活動の強化を」

支部会員を減らさずに済んだところは、積極的な地方行事を展開している。本部としても、支部活動の支援、本部行事の地方開催の二つを柱に、会員増加支援を図りたい。  
会員がRAILFAN誌を読むだけで済まないように、それぞれの問題点の抽出と解決法の提案を期待する。そのためには、全国どこにでも行くが、鉄道友の会60年の歴史をさらに発展させるために、皆さんの力を貸してほしい。  
との発言があった。
3. 総会規程第3条の規定に基づき、柚原副会長が議長に就任した。
4. 議事経過は次の通り。
  - (1) 総会規程第4条の2第3項の規定に基づき、議事録作成者として大庭理事・事務局長を選任することが議長から提案され、了承された。
  - (2) 総会規程第4条の規定に基づき出席者・議決権行使者数について、議長からの求めに応じて内田理事から、現開会時点で80名中68名の出席者および有効委任状提出者12名（内2名は出席代議員を指定、他は議長を指定）で、議決権行使者数80名との報告が行われ、会則第20条第3項の規定に基づき、本総会が成立したことが確認された。

【参考】最終出席者・議決権行使者数内訳は下表の通り。

	現員	議決権行使者		
		出席者	委任状提出者	合計
役員	19名	18名	1名	19名
代議員	61名	50名	11名	61名
合計	80名	68名	12名	80名

(3) 総会規程第5条第1項の規定に基づき、

赤井淳一、石井政光、宇野昭、大原雅嗣、岡崎幸雄、鹿山晃、佐藤滋恭、新町洋正、庄司雅治、末重剛、末重健一、豊泉一秀、樋口正勝、楨村慶造、柗木文彦、山崎達男、山崎崇、米田松彦会員の18会員から申し出のあった傍聴について許可した旨、議長から報告が行われた。

同時に、武田守代議員から入室許可申請書の提出があった、ご子息利久君(小6)についての総会会場入室を許可した。

(4) 事前に書面で提出された質問・意見合計62件に対して、その原文および本部回答要旨について纏めた「事前質問等・同回答要旨」を、事前に配布している。限られた時間内で、適切かつ迅速に議案審議を進めるため、皆様のご協力をお願いする。

**【第1号議案】 2016年度運営報告承認の件**

**【第2号議案】 2016年度収支決算報告承認の件**

議長から両議案について一括して審議する旨が提示され、関専務理事から運営報告について、二宮理事から収支決算報告について、千代村監事から監査報告について、それぞれ説明が行われた。

引続き質疑に移り、野上基長、沢野慎一、松嶋克広、日下博文、平石大貴 代議員（合計5名）から質問・意見が口頭で提出され、それに対して、関専務理事、柚原副会長、大幡理事、服部理事から回答が行われた（詳細後掲）。

なお、事前に書面で提出された質問等は、第1号議案関連では、井口昌樹、北野隆雄、日下博文、斉藤 凌、坂戸宏太、篠原 丞、坪倉則孝、濱道輝章、原 英喜、平石大貴、平野正範、兵頭俊康、松嶋克広、焼田 健 代議員（合計14名）から合計34件、第2号議案関連では、坂戸宏太、濱道輝章、平野正範 代議員（合計3名）から合計3件であった（別添回答書参照）。

その後、挙手による採決に入り、2016年度運営報告、収支決算報告は、原案通り承認された。

**【第3号議案】 2017年度運営計画案承認の件**

**【第4号議案】 2017年度収支予算案承認の件**

議長から両議案について一括して審議する旨が提示され、関専務理事から運営計画案について、二宮理事から収支予算案について、それぞれ説明が行われた。

引続き質疑に移り、沢野慎一、藤岡博信、松嶋克広 代議員（合計3名）から意見・質問3件が口頭で提出され、それに対して、関専務理事、大幡理事から回答が行われた（詳細後掲）。

なお、事前に書面で提出された質問等は、第3号議案関連では、日下博文、北野隆雄、沢野慎一、篠原 丞、坪倉則孝、中村 稔、原 英喜、平石大貴、藤岡博信、松嶋克広、真鍋裕司、山岸房雄 代議員（合計12名）から合計23件、第4号議案関連では、平野正範 代議員から1件であった（別添回答書参照）。

その後、挙手による採決に入り、2017年度運営計画、収支予算案は、賛成多数により原案通り承認された。

**【第5号議案】 役員選考会を構成する代議員選出の件**

総会規程第7条第3項の規定に基づき、役員選考会を構成する代議員選出について、関専務理事から3名選出の提案理由の説明が行われた。

提出された質問等無く、挙手による採決に入り、賛成多数により原案通り承認された。

**5.議案審議終了**

以上で提出議案審議を終了、柚原議長は降壇した。

**【特別事項】**として、平野正範代議員から、事前質問と同時に提案された2016年4月1日の「学校教育法」改正に伴う、会則の一部改正の必要性について、今後の検討課題とすることを確認。

**【質疑応答内容の詳細】**

**【第1号議案および第2号議案】**

**I. 事前提出質問、意見・提案等およびその回答要旨**

別添「鉄道友の会2017年度定時総会 事前質問等・同回答要旨」の

**1. 2016年度運営・収支決算報告事項に関する質問**を参照。

**II. 当日提出質問の要旨およびその回答要旨**

**(1) (野上基長代議員) 1号議案**

・議案書2ページ中頃：《会員》2017年3月末現在会員数合計3,023名が、(前年比△44名)とあるが、△75名ではないか。

(本部)

ご指摘の通り、前年度比75名減です。チェックミスですので、訂正させていただきます。

**(2) (沢野慎一代議員) 1号議案**

・理事会議事録の閲覧について。代議員向けに、今後、閲覧を常時可能にして欲しい。

(本部)

代議員向け「本部関係書類アーカイブ」に掲載し、特定パスワードで閲覧可能としています。

**(3) (松嶋克彦代議員) 1号議案**

・会費が高い。RAILFAN発行費用の低下等、下げる方策はないか。

(本部)

・機関誌RAILFANについては、紙媒体に持つ記録性、全会員に平等に配れることから、現時点では抜本の変更は無理。

・そのPDF化については、技術的には可能だが、著作権問題の解決等簡単には進められない状況。諸問題の検討を引き続き進めるが、RAILFANの内容・品質・レベルの改善についても検討して行く。

(4) (日下博文代議員) 1号議案

・BL賞について。

①B賞は特急車両、L賞は通勤車両ではないのか。

②選考委員の選定について。

理事会で決定しているが、各支部の意向は？支部推薦選考委員候補は可能か。

(本部)

・B賞特急車両・L賞通勤車両という区分はかなり前に廃止している。

最優秀車両がB賞、特徴ある優秀車両がL賞の区分が確定している。

・日本の鉄道車両の進歩・発展に寄与するという基本姿勢から「ご当地の車両」優位は得られない。大都会、大会社のものを選ぶということは、最近ない。

(5) (平石大貴代議員) 1・2号議案

・会費6,400円が高いとは言い切れない。6,400円に対する魅力の問題。

インターネット、ツイッターで瞬時に得られる列車情報に対抗するのは無理。今の若い子の金遣いは荒くなっているが、「得られる情報が何か」ということがポイントだと思う。

[第3号議案および第4号議案]

I. 事前提出質問、意見・提案等およびその回答要旨

別添「鉄道友の会2017年度定時総会 事前質問等・同回答要旨」の

2. 2017年度運営計画・収支予算案に関する質問・意見を参照。

II. 当日提出質問、意見・提案等要旨およびその回答要旨

(1) (松嶋克広代議員) 3号議案

①RAILFANへの投稿について、メールで受けられないか。

(本部)

・セキュリティの問題があり直接は受けられないが、CDに焼いてなら受付できます。

②研究会・支部の記事増強を。ページを確保して、年間活動実績を持ち回りで掲載しては如何か。

(2) (藤岡雄一代議員) 3号議案

・RAILFAN増刊号は、アーカイブとして評価する。この外販を止めて、欲しければ友の会に入会を勧誘し、会員増に結び付けたら如何か。

(本部)

・第3種郵便物指定を維持するため、定価表示をして一部外販を行っているのが現状です。

(3) (沢野慎一代議員) 3号議案

①ウェブサイトとRF編集の連携について。いつまでにウェブサイトに上げれば、RAILFANへは、いつ掲載されるか、スケジュールを教えてください。

②支部に対する助成金の具体的なPRを早めに知らせてください。

(本部)

①RAILFAN掲載までの日数は、他の原稿量との関係で2か月（隔月発行のため）の遅れが出る可能性があります。

②支部規程第15条に明記されていますのでご確認ください。

**【情報・意見交換会】 司会：加藤理事**

支部活動の紹介、PR・報告・提案をお願いする。(発言順：今年度は北の支部から発言)

- (1) 北海道支部(斉藤凌代議員)
  - ・支部員70～80名。「声掛け」効果で中学生の入会あり。
- (2) 秋田支部(本田正博代議員)
  - ・「親子鉄活動」として、模型運転会開催。4名の入会を得た。
- (3) 北関東支部(大島登志彦代議員)
  - ・支部員57名。総会、講演会等で、若手会員獲得が課題。
- (4) 東京支部(山口長之代議員)
  - ・支部員520名程度。東京支部圏の潜在会員の活性化が課題。
  - ・車両、部品メーカーの見学会等開催。
- (5) 新潟支部(沢野慎一代議員)
  - ・新津鉄道資料館展示協力、友の会コーナー設置、入会案内配布。新規入会促進。
- (6) 長野支部(原代議員)
  - ・会員数減、会費、支部費で1万円弱、会費額で引っ掛かる。
  - ・姨捨での会員研究発表会、今年50回目を迎える。
- (7) 北陸支部(卯野一郎代議員)
  - ・総会で、もう少し時間を取って欲しい。
- (8) 福井支部(岸本雅行代議員)
  - ・支部員37名。
- (9) 名古屋支部(野上代議員)
  - ・若手会員への支部費支援実施中。
  - ・支部員限定の写真展開催、リニア・鉄道館で開催。資料保存と連携。

【ここで予定時間となり、京都支部以西の各支部、研究会には、懇親会席上での紹介をお願いした】

15時35分、情報・意見交換会を終了、2017年度定時総会を終了した。

引続き関連して以下の行事が開催された。

**1. 記念講演会 (15時35分～16時50分)**

講師：九州旅客鉄道株式会社  
取締役 鉄道副本部長兼クルーズトレイン本部長兼運輸部長 福永嘉之氏  
演題：BEC819系交流架線式蓄電池電車「DENCHA」について  
参加者：公募の正会員を含め、87名

**2. 懇親会 (17時15分～18時45分)**

北とぴあ、16階 東武サロン「天覧の間」で開催。  
参加者：79名 (JR九州様3名ご招待を含む)

以上